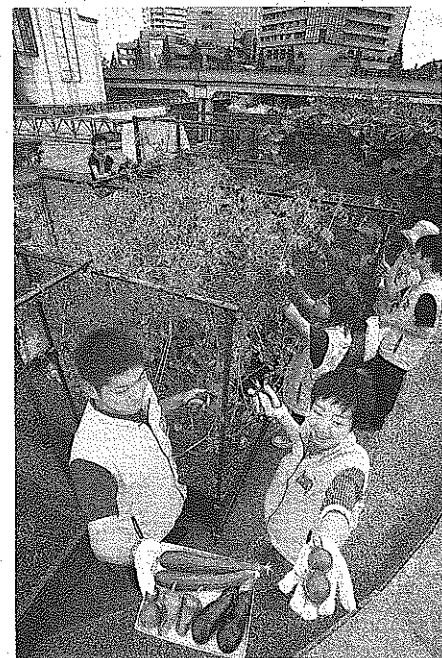


菜園キットで 屋上ビジネス

日当たり抜群！

丸紅は24日、ビルの屋上などを活用してキュウリやトマトなどの野菜を栽培する「屋上菜園キット」の販売に今秋にも乗り出す方針を明らかにした。ビルのオーナー向けに売り込み、将来的には採れたての野菜を近隣のレストランなどに提供する都市型の「地産地消」ビジネスに発展させる考えだ。栽培の支援事業にも乗り出し、大阪府が進める緑化計画への採用を目指すなど、新しい農業ビジネスへの育成を図る。

菜園キットの価格は9万7000円で、畑となる部分は440センチになるが、通常の土幅1メートル、奥行き1・9メートル、深さ30センチ。神奈川県の新興企業「丸紅」が開発した保水性が高い土壌「ヴェルデナイト」を使用し、一部でも日当りは抜群で、四



菜園キットを使えばビルの屋上で本格的な野菜作りが可能に（大阪・南港の「どこでもファーム」で）＝守屋由子撮影

オーナー向け 丸紅が販売へ

季節を通じて農地並みの収穫が期待できるのが魅力だ。3か月間でキュウリなら300本、タマネギなら80個程度の収穫が見込めるとしている。ビルの屋上を「貸農園」として生かせば、不動産価値の向上にもつながるため、丸紅には百貨店やテナントビルのオーナーなどから引き合いがくるなど関心を呼んでいる。丸紅がNPO法人イー・ピーニングと共に大阪・南港の

アジア太平洋トレードセンター（ATC）屋上で実験的に営む「どこでもファーム」では6月に植えたトマト、ピーマン、キュウリ、枝豆などを収穫した。こうした実績をアピールして販売拡大を図る。丸紅は、大阪支社内にもヴェルデナイトを使った植物工場を設けるなど農業ビジネスに力を入れており、屋上菜園などの関連事業で、2014年度には売上高40億円程度を目指す。

ユーロ安 製造業打撃

ドルより対策困難 欧州勢アジア狙う

欧州の財政危機を背景にした円高・ユーロ安が、企業の業績に打撃を及ぼしつつある。ワシントンで開かれた主要20か国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議では、欧州の危機拡大防止に向け先進国と新興国が結束することで一致したが、ユーロ安の流れは止まらない。欧州勢は輸出競争力を高める中、日本勢は欧州市場だけでなく、アジア市場でも厳しい戦いを強いられそうだ。（栗原守・河野越男、ロンドンで 中沢謙介）

対ユーロの円相場は、23日に一時、1ユーロ102円20銭台まで円高が進んだ。ソニーの為替想定レートは1ユーロ115円前後で、1円の円高で年間の営業利益が60億円減少する。対ドルでは工場の海外移転や、ドル建てで購入する部材を増やすなどの対策を進めてきたが、ユーロでは買える部材が限られ、「根本的な対策は難しい」のが現状だ。

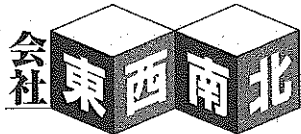
一方、欧州勢にとって、ユーロ安は輸出の追い風となる。欧州自動車最大手の独フォルクスワーゲンの日本メーカーは欧州市場での価格競争力が弱まっており、全輸出のうち欧州向けが28%と、国内メーカーの平均（約19%）より高い影響は避けられそうになり

主な製造業のユーロ安による影響

企業名	想定為替レート (1ユーロあたり)	1円円高になった場合に減る年間の営業利益 (対ユーロ)
ソニー	115円	60億円
キヤノン	115円	58億円
東芝	115円	30億円
パナソニック	110円	17億円
トヨタ自動車	116円	60億円
ホンダ	112円	15億円
マツダ	113円	12億円

して、日本企業は警戒を強める。ただ、ユーロ安の背景にある財政悪化と金融不安が深刻化すれば、消費者心理の悪化や信用収縮などを通じて欧州企業への打撃も懸念される。「2008年の金融危機を思い起こさせ

は1〜6月、世界各地で販売を伸ばし、連結営業利益も過去最高の約61億円（約6300億円）を計上した。欧州勢はアジア市場の開拓も狙っており、「シーメンスなど欧州メーカーがアジアのインフラ（社会基盤）市場への進出を加速する」（三菱重工幹部）と



家具職人集団「江洲鏡台店」（徳島市）は、木工の産地、徳島の伝統技術を継承する職人たちが鏡台や仏壇を製造している。子ども用の弁当箱遊「山箱」を復活させるなど、地元の文化の継承に努めている。

船大工発祥の木工技術

江戸時代、徳島市の新町川にできた。同社は1937年に起業した「江洲長(63)は「顧客の要望に応えるため、職人が思いを込めて製作します」と話す。



立てまで一貫製造している。最近では鏡台の製造技術を活用し、マンションに合う家具調仏壇も製造する。江洲達人社長(63)は「顧客の要望に応えるため、職人が思いを込めて製作します」と話す。

冷凍食品にも 作りたての味

冷凍機の製造販売などを行う「菱豊フリーズシステムズ」(奈)

「さにかかわらない」との先入観を打ち破りたかった」と語る。

大手電機メーカーを定年前に退社。冷凍技術の可能性を追究し、電磁波や磁力を使って食品の品質を保ちながら冷凍する技術を生み出した。調理済みの料理を冷凍して

海外へ

メノウを加工した勾玉や天然石の装飾品を加工販売する「め」(松江市)は国内の96店舗に加え、9日、ソウルに海外1号店を開いた。来年は中国進出も視野に入れる。

新聞は地域経済を応援します

「光る洗面台」(神戸方築一滋 県甲賀市、21万円) 県信楽窯技術試験場が開発した、石英セラミック製の洗面台。光る洗面台は、洗面台の裏面にLEDを埋め込み、光を透過させて光る洗面台を開発した。

経済 全国便

観光客 呼び戻せ

栃木・群馬

前つの風一